



八ヶ岳

八ヶ岳に移り住む人々の
ゆるやかなネットワーク

- ① 地域の自然と文化を学び合う
- ② 農と手づくりに親しむ暮らしづくり
- ③ 知縁を生かした仲間づくり

Since2000 No.139

2024年3月1日発行

八ヶ岳ふるさと倶楽部会報

発行 八ヶ岳ふるさと倶楽部 メール:member@8furusato.hiho.jp ファックス:050-3737-1293



八ヶ岳ふるさと倶楽部

総会

春の集い

日時:4月20日(土)

13:00 受付開始

13:30~16:30

場所:生涯学習センター

こぶちさわ

写真提供《カラマツ会》

新たなふるさと倶楽部に向けて「ふるさと倶楽部会員資格の拡大について」ご提案

(総会決議事項)

現在、会則の定める会員資格は「都会から八ヶ岳エリアにふるさと情報館を通して移り住んだ人、週末利用の人、土地のみを購入して田舎暮らしを夢見る人」となっています。今回の提案は、「2年以上経過した会員からの紹介であれば、ふるさと情報館を通さなくても、会員として認める」という内容を追加するものです。

その狙いは倶楽部の活性化と安定的な運営・財源確保にあります。次に背景や思いについてご説明します。

1つ目は、新しい仲間を増やして新鮮な発想で運営やイベント企画をして頂き、倶楽部の活性化に繋がりたいと考えます。

2つ目は、ふるさと倶楽部の会員数は現在 291 世帯と、ピークの 338 世帯(2017年)から 47 世帯減少しています。

一方昨年の新規入会は3世帯に留まっており、退会が入会を上回る状況です。地域全体では移住者等は増加傾向と聞きますが、ふるさと倶楽部会員数は減少し、結果として平均年齢が上がる状況となっています。その為各種行事の運営にも支障が出始めています。また運営委員を引き受けて頂ける方も少なく、今後の運営にも支障が出始めています。

3つ目は、予算面でも会費収入が減少する一方で運営経費が増加し、直近の数年間では単年度決算では赤字の状況です。今後会報発行やHP運用などにも影響が出る可能性や、本年秋に検討されている郵便料金の値上げ等運営諸経費がさらに上がることも予想されます。

八ヶ岳ふるさと倶楽部も設立から24年が経ち、運営上幾つかの課題が出てきました。次世代に向け、安定基盤を確立し、ふるさと倶楽部の存在意義を高められるよう、皆様のご意見をお聞かせください。(運営委員一同)